

研究課題番号	1-1905
研究課題名	気候変動の暑熱と高齢化社会の脆弱性に対する健康と環境の好循環の政策
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	関西大学
研究代表者名	北詰 恵一

1. 委員の指摘及び提言概要

AI活用による高精度の熱中症発生予測モデル、搬送データからの地域の脆弱性評価モデル、リスク定量モデルを構築し、これらを踏まえて、行動変容支援や暑熱環境軽減技術等を活用したオープンイノベーション方式による地域協創拠点での検討を実施し、積極的な成果の論文化を行っている。他の地域にも展開できるモデルのため、このことを含めて、有効な研究成果と評価できる。地域協創拠点における暑熱環境軽減技術提案については、その評価や事業化における行政の関与の在り方の具体的な検討、多面的な効果を持つ樹木の活用を含め、継続的な運用が期待される。一部自治体からの評価も得ており、実際に検証しつつ他地域での応用等、更なる普及に向けて検討して頂きたい。

2. 採点結果

評価ランク：S